

# DISC GRINDER



ディスクグラインダー SD-100C

取扱説明書



このたびはディスクグラインダーをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。  
お読みになったあとは必ず保存してください。

## 安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「警告」を必ず守って下さい。
  - ご使用前に、この「警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
  - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

## 警告

### 1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
  - ・作業中、本機工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
  - ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

### 2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
  - ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
  - ・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
  - ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外には近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
  - ・作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
  - ・感電の恐れがあり大変危険です。

## ⚠ 警告

### 3. 電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
  - ・表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

### 4. 取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業して下さい。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切して下さい。
  - ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認下さい。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
  - ・ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をして下さい。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させて下さい。
  - ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないで下さい。
  - ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないで下さい。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いて下さい。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いて下さい。
  - ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

## ⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出して下さい。
  - ・異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないで下さい。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意して下さい。
  - ・コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用下さい。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いて下さい。
  - ・工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないで下さい。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工して下さい。
  - ・加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないで下さい。
  - ・不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機の能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
  - ・能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

### 5. 手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用下さい。
  - ・使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用下さい。
  - ・切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をして下さい。
  - ・修理、点検は販売店、又は当社にお申し付け下さい。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管して下さい。

## ■ディスクグラインダの使用上のご注意

●本機は各種金属、コンクリート、石材、スレート、樹脂などの乾式平面研削を目的とする携帯用工具です。

(注) トイシの上面、側面は使用しないで下さい。

●水や研削液等を使用しますと、感電事故のもとになり、危険ですので絶対に使用しないで下さい。

●研削トイシで切断作業をしますと破壊する恐れがありますのでしないで下さい。切断のときは切断トイシをご使用下さい。

●トイシを上方向にして、本機を固定して使用しますと危険ですのでしないで下さい。

●トイシカバーは必ず取り付けてご使用下さい。取りはずして使用しますと危険です。

●使用前にトイシに亀裂、割れがないことを確認して下さい。又、トイシの止めネジが締まっていることを確認して下さい。

(注) トイシに亀裂などがある場合は、新しいものと交換してから使用して下さい。

●回転中はトイシに手を触れないで下さい。又、身体に近づけないで下さい。

●作業中は保護メガネをご使用下さい。又、研削粉が多く出るときはマスクをつけて下さい。

●研削粉は火花となって飛散しますから引火しやすいもの、傷つきやすいものは近くに置かないで下さい。又、研削火花を直接手足などに当てないようにして下さい。

●使用中は本機を確実に保持して作業をして下さい。

●研削する材料は確実に保持して作業をして下さい。

●回転中はロックピンを押さないで下さい。又、ロックピンを押したままスイッチを入れないで下さい。

●回転させたままで床などに置かないで下さい。

●トイシの交換、ブラシの交換をするときは、必ずスイッチを切って、電源プラグを電源から抜いて下さい。

●無理に押しつけて、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないで下さい。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。

●コード線を長く接続して使用するときは、適正な太さのコード線を使用し、モーターの力の低下を防止して下さい。

## ■用途

●金属（板、骨材、鋳物）の研削、仕上、バリ取り、錆おとし。

●金属（板、骨材）溶接、溶接部の研削、バリ取り、面取り。

●レンガ、石、合成樹脂等の表面仕上。

## ■部品の名称



## ■仕様明細

型 式	ディスクグラインダー SD-100C
電 圧	100V
周 波 数	50/60Hz
消費電力	560W
全負荷電流	5.9A
回 転 数	10,000回/分
トイシ寸法	100×6×15m/m
電源コード	1.8m
重 量	2kg
定 格	30Min

※品質改良のため製品仕様が変わることがあります。

## ■付属部品

トイシ	レジノイドトイシ（本機にセットして使用）	1
スパナ	トイシの交換に使用	1
サイドハンドル	本機にセットして使用	1

## ■点 検

●運送中に本機に破損した箇所がないかご確認下さい。特にトイシの亀裂、割れをご確認下さい。

●運送中にボルトやナットの脱落がないかご確認下さい。万一ボルト、ナットのゆるみ等がある場合は、正規の状態に締め付けて下さい。

●その他不具合などの点がありましたら、お買上げ店または当社にご連絡下さい。

## ■作業前の準備

- 電源の位置がはなれているときは、延長コードを使用して下さい。延長コードを使用するときは使用する長さに応じ、十分な容量のコードをご使用下さい。コードをあまり長くしたり、細いコードを使用したりしますと、電圧の降下が大きくなり、モーターの力が弱くなります。コードはできるだけ短くしてご使用下さい。電線の容量は20m位まで1.25mm<sup>2</sup>。
- コードに損傷があるときは、すぐに交換または修理をしてご使用下さい。
- 作業場所が警告事項に適合しているかどうか確認して下さい。

## ■作業前の点検（電源プラグを電源に差し込む前の点検）

- 使用する電源を確かめて下さい。100Vのものを200V電源に接続すると、モーターの回転が異常に高速となり、本機が破損するおそれがあります。
- スイッチが切れていることを確認して下さい。スイッチがONになっていましたと、電源プラグを電源に差し込むと同時に起動し、思わぬ事故のもとになります。
- トイシカバーは回転中トイシが破損した時の保護になります。必ず付けて使用して下さい。
- トイシに亀裂、割れがないかご確認下さい。又、正しくセットされているか点検して下さい。
- 作業前に人のいない方向にトイシを向けて試運転をし、トイシに異常のない事を確認して下さい。

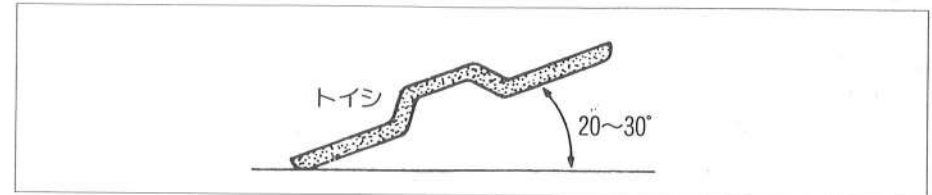
## ■トイシについて

- 本機に付属のトイシは、レジノイドトイシで、と粒A、粒度36、結合度Q、結合剤Bがついています。
- トイシの外径は100m/mです。外径が60m/m位まで磨耗しましたら新品と交換して下さい。
- トイシの交換の時は、亀裂の有無を確認し、亀裂の入っているものは絶対に使用しないで下さい。
- トイシの選択表

削材料の材質	トイシの種類			
	と粒	粒度	結合度	結合剤
一般用	A	36	P又はQ	B
鋼材、鋳鉄一般	A	36	N	B
特に硬い鋳鉄（マンガン鋳鉄など）	A	36	L	B
硬性非鉄金属（アルミ、亜鉛合金など）	C	20	L	B

## ■削り方

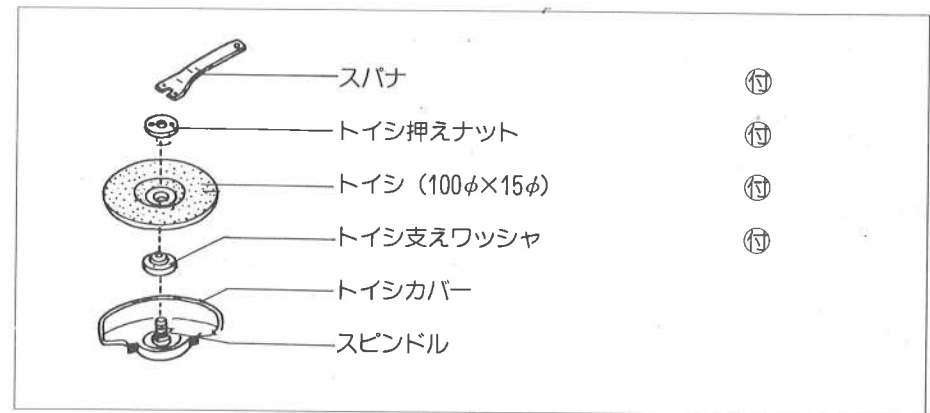
- トイシを研削する材料の面に、強く押しつけないで下さい。トイシを研削材料の面に軽くあてる程度で保持しますと、自重で研削することができます。
- トイシの押しつけ角度は材料の面からトイシの面が20°～30°位が適当です。（注）トイシの全面を材料にあてないで下さい。
- トイシが新しい時は後へ引くようにして使用して下さい。周囲の角が少し磨耗してきますと、前方向に進めても、後へ引いてもご使用になれます。



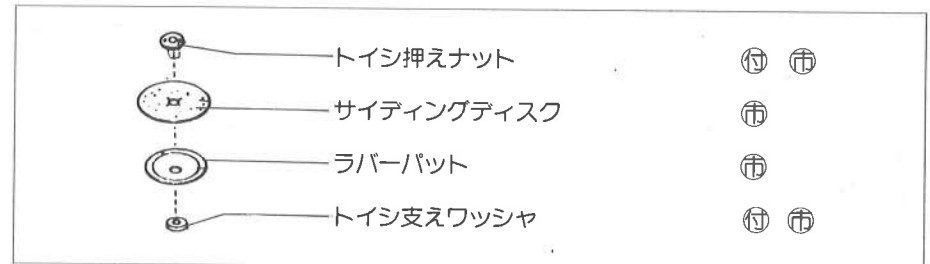
## ■付属品、特別付属品（別売）の明細

（注）付属品は (付)、市販物は (市)、特注物は (特) の表示になっています。

### ●トイシ用部品

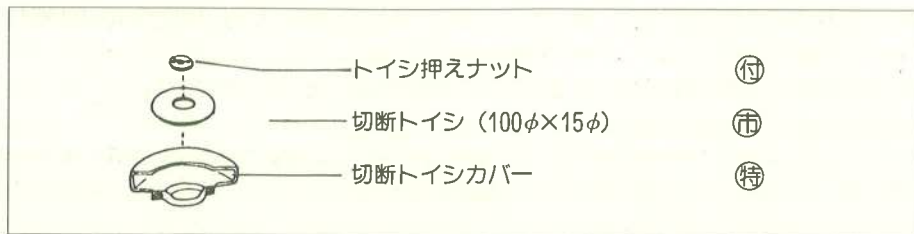


### ●トイシ用部品

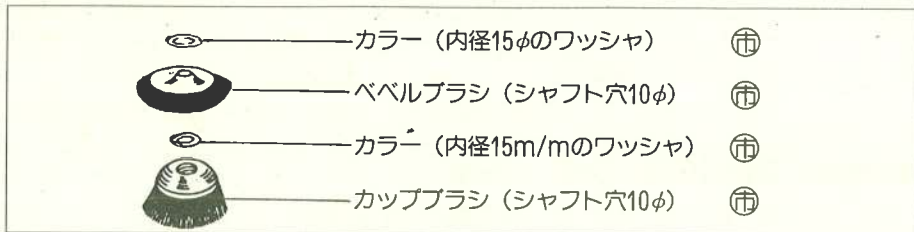




●切断トイシ用部品



●カップワイヤブラシ、ベベルワイヤブラシ用部品



(注) ワイヤブラシをセットするときはトイシ支えワッシャを取り除き、カラー (ワッシャ) を2~3枚スピンドルに差し込んでからワイヤブラシをねじこんで下さい。  
 カラーを入れないでねじ込みますとあそびが大きくて本機の破損につながります。

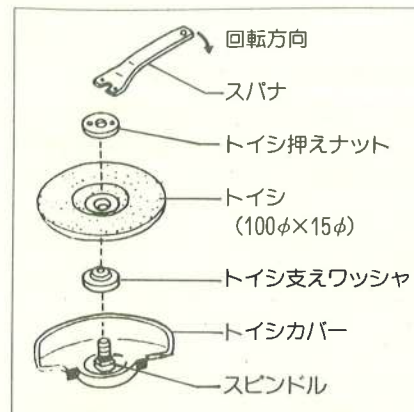
■トイシカバーの角度調整方法

●トイシカバーの上部リングにネジがついています。角度を調整するときはネジをゆるめて調整して下さい。

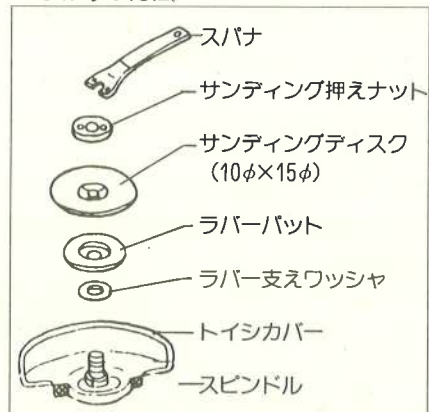
(注) トイシカバーは安全のため、必ず取りつけてご使用下さい。

■部品のセット方法

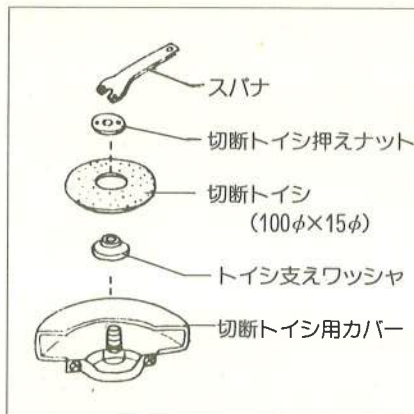
●トイシ取り付け取りはずし方法



●サンディングディスクの取り付け、取りはずし方法



●切断トイシの取り付け、取りはずし方法



- (1)スピンドルを上にして、トイシ支えワッシャの小判型の凹部をスピンドルの小判型凸部に差し込んで下さい。
- (2)トイシ支えワッシャの上にトイシの凸面を置いて下さい。
- (3)トイシの上に、トイシ押えナットの凸面をトイシ側にして差し込んで下さい。
- (4)ロックピンを指で押して、スピンドル軸を固定し、スパナでトイシ押えナットを締めつけて下さい。

- (1)サンディングディスク (市販品) に専用の支えワッシャ、押えナットがついているときは、それをご使用下さい。
- (2)市販品に専用の支えワッシャ、押えナットがついていないときは付属のトイシ支えワッシャとトイシ押えナットの平な面をラバー一面にして締めつけて下さい。

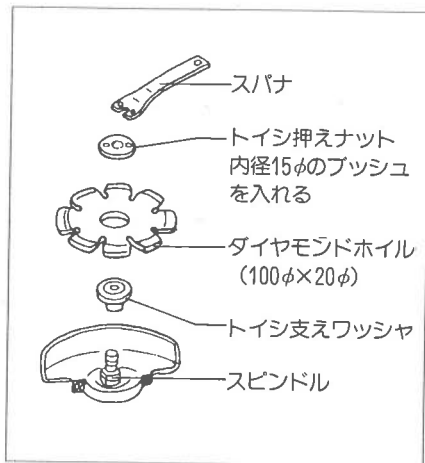
- (注) 切断トイシ支えワッシャは、トイシ支えワッシャ用と同じです。
- (1)トイシカバーを取りはずし、切断用トイシカバー (特) を取りつけて下さい。
  - (2)スピンドルにトイシ支えワッシャ、切断トイシの順につけて下さい。
  - (3)切断トイシの上から切断用トイシ押えナットの凹面をトイシ側にしてスピンドルにつけて下さい。
  - (4)ロックピンを指で押して、スピンドル軸を固定し、切断用トイシ押えナットを締めつけて下さい。

●カップワイヤーブラシ、ベベルワイヤブラシの取り付け、取りはずし方法

トイシ支えワッシャ、トイシ押えナットを使用しないで直接スピンドルに取りつけて下さい。(100φ×10φ)

(注) ワイヤブラシをセットするときはトイシ支えワッシャを取り除き、カラー(ワッシャ)を2～3枚スピンドルに差し込んでからワイヤブラシをねじこんで下さい。カラーを入れないでねじ込みますとあそびが大きくて本機の破損につながります。

●ダイヤモンドホイールの取り付け、取りはずし方法



①ダイヤモンドホイールは100φ×20φ(市販品)のものをご使用下さい。(20φの穴の中に内径15φのブッシュを入れてご使用下さい(市販品)。

②水や研削液などをかけないで下さい。

③切断時に無理に押えますと、焼損の原因となります。

④切り込み寸法は3～4 m/m 位にして下さい。

⑤送りの速さは加減をしながら、無理な負荷をかけないようにして下さい。

⑥使用前にダイヤモンドホイールに亀裂、曲り等がないことを確認して下さい。

⑦ご使用前に試運転をして異常のないことを確認して下さい。

(注) トイシ支えワッシャ、トイシ支えナットはトイシ取付用と同じです。

(A) スピンドルにトイシ支えワッシャ、ダイヤモンドホイール、ナットの順に取り付けて下さい。

(B) ダイヤモンドホイールの上からホイールナットの凸部をスパナに向けてスピンドルに付けます。

(C) ロックピンを押してスピンドル軸を固定し、スパナでトイシ押えナットを締め付けて下さい。

■保守、点検

●点検、手入れのときはスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いて下さい。

●トイシの外径が60m/m位まで磨耗しましたら、新品と交換して下さい。

●各部取付ネジがゆるんでいないか点検して下さい。ゆるんでいたら、締めつけて下さい。

●モーターの内部には水、オイル等は絶対に入れないで下さい。

●モーター内部のホコリを取り除くときは、本機を無負荷で回転させ、テールカバーの風穴から湿気のない空気を吹き込んで下さい。

●使用しない時は、安全な場所に保管して下さい。

①お子様の手の届かないところ。

②直射日光、風のかからない湿気の少ないところ。

■カーボンブラシの取替え

●カーボンブラシが6 m/m以下になりましたら新品と交換して下さい。

(注) カーボンブラシを6 m/m以下でご使用になりますと、故障の原因となります。

●カーボンブラシは下記のものをご使用下さい。

寸法、5×8×12

●交換方法はブラシホルダーのキャップをマイナスドライバーではずして交換して下さい。

■その他

本機が正常に作動しないときは、お買上げ店、又は当社にご連絡下さい。

# 保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ディスクグラインダー SD-100C		お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1 年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	( )		
販売店	住所 店名	〒 ( )		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

**SHINKO** 株式会社 新興製作所

〒101 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600